

第4回シンポジウム「相談支援に係る実務的な相互連携の在り方」

令和5年2月15日

■ 概要

- 日時: 令和5年3月16日(木) 16:30-19:00
- 場所: YouTube配信によるオンライン方式で開催(参加無料)
- 参加方法: オンラインフォーム (<https://forms.gle/HhQobQo7hArArt6y5>) で受付
申込み締め切り: 3月10日(金) 17:00



※本シンポジウムは令和4年度「孤独・孤立対策に資するNPO法人等の連携促進等に関する調査研究事業」の一環として開催します。

■ 趣旨

- ・孤独・孤立に関する個人の悩みは複雑化・多様化しており、相談窓口も分野やエリアに応じた様々なものが存在している。しかし、各主体のみでは複雑・多様な課題への対処に限界があり、また、相談支援を求める当事者等の立場からは、様々な相談窓口があるが故に相談を諦めてしまうケースもあると考えられる。このような状況を踏まえ、相談窓口体制や相談と支援をつなぐ体制整備の推進、ならびに、関係団体相互の連携強化が求められている。
- ・上記の背景を踏まえ、分科会3では、令和4年度に全4回実施した「孤独・孤立相談ダイヤル」事業の試行を踏まえ、悩んでいる方々に各種支援策が着実に行き届くようにするために「相談支援に係る実務的な相互連携の在り方」を議論した。
- ・本シンポジウムでは、分科会3の議論内容を報告するとともに、一元的な相談支援体制の在り方や、地域での「相談」と「支援」をつなぐための各主体の連携の姿、および今後の方策を考察する。

■ プログラム

時間	コンテンツ	登壇者
16:30-	開会挨拶	・山本麻里氏(内閣官房孤独・孤立対策担当室 室長)
16:40-	「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」と「分科会」の紹介、孤独・孤立対策の重点計画の説明	・吉川晃氏(内閣官房孤独・孤立対策担当室)
16:50-	分科会3の紹介: 活動紹介と現在の議論内容の報告(孤独・孤立相談ダイヤル試行結果の報告を含む)	・小西慶直氏(一般社団法人日本いのちの電話連盟 孤独・孤立相談プラットフォーム事務担当)
17:10-	自治体独自の相談窓口事例報告	・中村礼氏(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局福祉保健課 地域福祉推進室 課長補佐)
17:20-	パネルディスカッション 「効果的な相談窓口体制整備と望まれる連携の在り方」	【モデレーター】 ・大西連氏(内閣官房孤独・孤立対策担当室 政策参与) 【パネリスト】 ・高橋良太氏(社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長/全国ボランティア・市民活動振興センター長) ・遠藤智子氏(一般社団法人社会的包摂サポートセンター(よりそいホットライン) 事務局長) ・勝部麗子氏(社会福祉法人豊中市社会福祉協議会 事務局長) ・菊池馨実氏(早稲田大学理事・法学学術院教授)
18:55-	閉会	事務局

■ 本事業、シンポジウムに関するお問い合わせ

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム事務局(一般社団法人RCF内) 担当: 鉄井・渡辺
電話: 03-6265-0164(鉄井携帯: 050-5235-0433/渡辺携帯: 050-5897-1121)